

FUJI 先輩社員からの声 Part.3

富士運輸の先輩社員から会社について色々とお話を伺いました。

長距離ドライバーになって

出田 竜也 (熊本営業所 乗務員)

地元で勤めていましたが、元々車が好きだった事と先輩からの誘いもあり思い切ってドライバーに転職しました。長距離運行をするようになって、他府県のお客様との関わりが増えて今ではとても良い刺激になっています。熊本営業所は平均年齢が若く、ドライバー同士が仲がいいのは勿論、所長や配車マンともコミュニケーションがしっかり取れています。分からないこと、困ったことを何でも相談できるそんな営業所です。プライベートでは家族が増えるので、今後もより一層の安全運行を心掛けたいと思います。



三途の川を渡りかけて・・・。

前田 修 (広島営業所 所長)



富士運輸株にドライバーとして入社し、郵便輸送・航空貨物・一般貨物等の輸送をしておりました。このままドライバーとして頑張ろうと思っていましたが、閑空で待機中に体調が悪くなり同僚に助けられ、救急車で緊急搬送されました。診断は脳梗塞でした。搬送が早かった為に九死に一生を得ました。その後は後遺症もなく、業務に復帰することが出来ました。本社にて配車業務を経て、現在は広島営業所の所長として、助かった命を日々感謝しながら頑張ってます。

チャレンジの日々

岡村 成晃 (厚木営業所 所長)

平成14年にドライバーとして本社に入社しました。始めは一生ドライバーで良いと思いながら、日々業務をこなしていました。しかし、日を追うごとに会社は成長し、営業所展開をしていきました。それに伴い、自分の考えも、このままで良いだろうか？自分は何が出来る？何処まで出来る？と問うようになりました。そのタイミングで、亀山営業所設立の話があり、立上メンバーに立候補しました。その後は日々の仕事に追われ、自分が成長しているのかどうか分からないまま走ってきたように思います。現在は厚木営業所の所長として、更に自分が何処まで出来るかチャレンジ中です。



小さな営業所だからできること

河上 武弘 (埼玉営業所 乗務員)



平成16年にドライバーとして入社しました。日々の運行で心掛けていることは、「仕事内容によって区別しない」という事です。与えられた仕事はイレギュラー対応であろうと全て同じ気持ちで最善を尽くすという事です。特別なことではなく、当たり前のことを毎日積み重ねることがお客様の信頼を得る一番の近道だと思います。トラックに乗っている間は1人ですが、経験や知識をみんなで共有することで、誰が運んでも同じ輸送品質をお客様に提供することが出来ると思います。平成22年に出来た埼玉営業所は、まだ20名ほどの小さな営業所です。だからこそ、若手社員とのコミュニケーションを積極的に取り、営業所の結束を深め、営業所一丸となって頑張っていきたいと思います。

当たり前のことを当たり前

木崎 光明 (亀山営業所 乗務員)

平成16年にドライバーとして入社しました。平成17年に亀山営業所が出来てからは、亀山を中心に日々の業務にあたっています。トラックで仕事をしている以上事故とは隣り合わせですが、「事故をしない、もらわない事もプロ意識」を肝に銘じ運行するように心掛けています。富士運輸では様々なものを運びますしイレギュラー対応も沢山あります。決して楽な仕事とは言えませんがその分やりがいも十分にあります。イレギュラーを特別な事と思わず、「当たり前のことを当たり前にする」、それをこれからも続けていきたいと思っています。



常に初心を忘れずに！

弘田 真規 (関西空港支店 乗務員)



私は前の運送会社の先輩に「こういう会社(富士運輸)に転職して、仕事も常にあるいい所やで」と教わり、紹介してもらい入社しました。正直転職すると、また一からスタートしなければならぬし、覚える事も沢山あるのではと少し抵抗感がありました。不安を抱えながら入社してみると、皆さん親切に教えて下さってすごく働きやすい所だと感じました。これから入社される新人さんにも同じように思ってもらえるように私自身も心掛けていきたいです。